

2022年1月28日

## 原料費調整制度に基づく2022年3月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年3月検針分の単位料金を、2022年2月検針分と比べ、1m<sup>3</sup> (45MJ) につき3.34円 (消費税込) 上方に調整いたします。

今回の調整は、2021年10月～2021年12月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に36m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で2022年2月検針分と比較して、120円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年3月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24m <sup>3</sup>	料金表B 25～500m <sup>3</sup>	料金表C 501m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	141.20	119.65	107.03
(参考) 2月 調整単位料金	137.86	116.31	103.69

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2022年 2月	2022年 3月	増減
適用料金(円/月)	5,483	5,603	120

- ・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量 (2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- ・口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円 (消費税込) を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2021年9月～2021年11月 の平均 (2月検針分)	2021年10月～2021年12月 の平均 (3月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	35,040	38,930	3,890
LNG	71,950	80,420	8,470
LPG	88,470	92,480	4,010
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	7,600	11,500	3,900

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 80,420 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 92,480 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 38,928.39$$

↓(10円未満四捨五入)

$$38,930 \text{ 円/t}$$

##### ■原料価格変動額の算定

$$38,930 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = 11,580 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

$$11,500 \text{ 円/t}$$

##### ■単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 11,500 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.0858^{*1} \\ &= 9.86 \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2022年 2月	2022年 3月	増減
適用料金(円/月)	5,483	5,603	120

#### ・標準家庭料金の計算方法

群馬地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,296.10円)} \\ &+ \text{調整単位料金(109.79円} + 9.86 \text{ 円)} \times 36\text{m}^3 \\ &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込) ↑} \quad \text{↑単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。